



週刊 さんいん学問

第497号

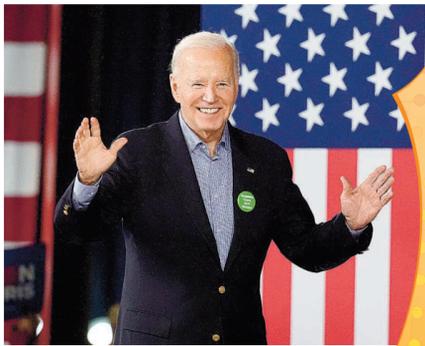
紙面ガイド

- まなぶん2**
- おうちで英語
 - 絶滅動物
 - こたえるモン

- まなぶん3**
- バリでガガやけ!
 - ことばの宝物
 - 社会保障

- まなぶん4**
- まなぶんクロス
 - 投稿ひろば
 - 小学生学力講座

まなぶん



アメリカ・ジョージア州で支持者の声にこたえるバイデン大統領=3月(A・P=共同)

今年11月、4年に1度行われるアメリカ大統領を選ぶ選挙で、バイデン大統領と、再び大統領を目指すトランプ前大統領が、前回の選挙に続き対決します。同じ候補者が再び争うのは1956年の大統領選以来68年ぶりです。経済政策や移民対策のほか、ウクライナやイスラエルへの支援などが問題点になります。結果は国際情勢に影響するため、世界各国が注目しています。



アメリカ・ジョージア州の選挙集会で演説するトランプ前大統領=3月(ロイター=共同)

まなぶんクイズ

(7日付紙面から出題)

ボクシングの世界戦4試合が6日行われ、スーパーバンタム級4団体タイトルマッチで井上尚弥選手が元世界王者のルイス・ネリ選手(メキシコ)をTKOで破りました。井上選手はネリ選手を第何ラウンドで下したでしょう。

①2ラウンド ②3ラウンド
③6ラウンド

(クイズの答えはまなぶん4面)

現 バイデン氏

「予備選」と「本選」

アメリカの大統領が選ばれるまでには二つの段階があります。民主党と共和党という大きな政党があり、まず各州で「予備選」と呼ばれる選挙や党員集会を開いて党の候補者をしぼりこむ「指名争い」をします。

今年11月の「本選」では、全50州と首都ワシントンに割り当てられた「大統領選挙人」計538人の過半数を獲得した候補が当選します。全国の有権者が投票し、各州で最も多い票を得た候補が、その州の選挙人全員を獲得する仕組みです。

党大会で正式指名

指名争いは1月、中西部アイオワ州の共和

アメリカ大統領選 68年ぶりの再対決

前 トランプ氏

備選や党員集会が集中した3月5日の「スーパーチューズデー(重要な火曜日)」でも勝利しました。トランプ氏は7月、バイデン氏は8月に、それぞれ党大会で党候補に正式に指名されます。

二大政党以外では、暗殺されたケネディ元大統領のおいで無所属の弁護士ロバート・ケネディ・ジュニア氏ら3人も立候補しています。

一方、アメリカのABCテレビなどが2月に発表した世論調査で、81歳のバイデン氏が高齢で2期目を務められないと不安視する回答が86%に達しました。77歳のトランプ氏もふくめ高齢過ぎるとの回答は59%で、世代交代を望む声もあります。

もし前大統領のトランプ氏が再び大統領になったら。アメリカ第一主義のトランプ氏が国のリーダーになる可能性に世界が注目する中、日本で「もしトラ」という言葉が流行しています。トランプ氏の型破りな言動から、アメリカと安定した関係を築けるか不安だという声があるためです。

当選の確率が高い「ほぼトラ」や「まじ「もしトラ」不安に面会相次ぐ

「確トラ」の言葉もとびかっています。日本政府は、トランプ氏が協力関係を見直すことなどを警戒。自民党の麻生太郎副総裁は4月23日、今後も良い関係を築けるように、アメリカを訪れトランプ氏と会談しました。

バイデン大統領の支持率がのびず、各国のトップや大臣も「もしトラ」に備えトランプ氏との会談に乗り出しています。

アメリカ大統領選の主な候補者

民主党	共和党
<p>ジョー・バイデン氏 (81)</p> <p>東部ペンシルベニア州生まれ</p> <p>アメリカ史上最も高齢の大統領</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 弁護士から政界に入り30歳で上院議員に。オバマ政権で副大統領 ● 2020年大統領選でトランプ氏に勝利 	<p>ドナルド・トランプ氏 (77)</p> <p>ニューヨーク生まれ</p> <p>4事件で起訴された前大統領</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホテルやカジノを展開する「不動産王」やテレビタレントとして成功 ● 2016年大統領選で勝利

2024年6月まで 各州・地域で予備選・党員集会
7月 共和党大会
8月 民主党大会
11月5日 大統領選投票
25年1月20日 就任

大統領選 今後の流れ ※日付は現地時間

(似顔 中村剛)

科学

アメリカ、ドイツ、日本など先進7カ国(G7)で環境問題などを受け持つ大臣の会議が4月、イタリアで開かれた。

そこで大臣たちは石炭火力発電について「二酸化炭素(CO₂)の量をへらす対策をしていないものは2035年までにやめる」との内容で合意し、文書で発表しました。

G7石炭火力、35年までにやめる



石炭火力は地球温暖化を招くCO₂を多く出すため、やめるべきだとの声が強まっていますが、政治や経済の力が大きいG7の文書にやめる時期が入ったのは初めてです。

日本は電力の3分の1を石炭火力にたよっています。文書には、そうした国が今後も使い続けられるような条件も、あわせて入りました。

日本は石炭にアンモニアなどをまぜてCO₂をへらす計画ですが、やめることを決める国がふえているため「対策に熱心でない国」と言われるおそれがあります。

生きもの

野生ニホンザルの餌付けで知られる大分市の高崎山自然動物園で、今年最初の赤ちゃんザルが生まれ、園は「デコピン」と名付けました。アメリカ大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手の愛犬にちなみ

園の職員が4月21日、餌をやる場所にいた母ザル「アキラ」の胸元に、赤ちゃんザルがぶら下がって

「デコピン」こんにちは 大分・高崎山自然動物園

いるのを見つけました。性別はオスで人間の手のひらほどの大きさでした。

職員の木本智さん(55)は「大谷選手が活躍すると、うちのデコピンにも注目が集まる。これからも偉大な記録を打ち立てほしい」と大谷選手にエールを送りました。

園は2013年から、その年に初めて生まれるサルの名前を募集。今年は797票のうち、デコピンが最多の52票でした。「オオタニ」や「ショウヘイ」も多かったですが、特定の個人名はのぞくことになっています。



母ザル「アキラ」にだかれる赤ちゃんザル「デコピン」=4月22日、大分市の高崎山自然動物園

国際

アメリカのコロンビア大は6日、優れた報道をたたえる今年のピューリッツアー賞を発表し、特別賞に特定の誰かではなくパレスチナ自治区ガザでの戦闘取材する全ての記者を選びました。

選考委員会は、数多くのジャーナリストがパレスチナ人や支援者らの記事を伝えるために命を落としたとして「悲惨な状況の中での勇敢な功績」

ガザ取材全て「勇敢な功績」

を評価しました。

国際報道部門は昨年10月のイスラム組織ハマスによるイスラエルへの奇襲や、イスラエルの情報活動の失敗などを報じたニューヨーク・タイムズ紙が受賞。報道写真部門にはハマスとイスラエルの攻撃を記録したロイター通信が選ばれました。

最高の栄誉とされる公益部門には、アメリカの最高裁判事が共和党支持者の富豪から特別な計らいを受けていたと報じたアメリカのニュースサイト、プロバブリカが選ばれました。

犬の雑学

覚えよ! 5月22日はほじょ犬の日

くじ引き ほじょ犬の日

かもうたかさん ほじょ犬の日

わー!! ちがう!!

ほじょ犬の日

ほじょ犬は3種類

盲導犬 聴導犬

目か不自由な人を手伝う 耳か不自由な人へ音を知らせる

介助犬

覚えよ!

© 藤原一騎・辻なつき/かみやたかひろ

温かく見守って

山陰中央新報製作センター見学施設

しんぶん学問館

山陰中央新報の見学施設「しんぶん学問館」(出雲市斐川町上庄原)は、展示コーナーや設備の見学を通して、紙面作りや印刷の仕組みを学ぶことができます。

山陰中央新報を印刷している「山陰中央新報製作センター」に併設され、大型ディスプレイで映像を見られる視聴覚ホール、過去の大きなニュースを伝えた紙面をはじめとした各種展示コーナーなどがあります。月曜日から金曜日まで(祝日を除く)見学を受け付けています。

カラー印刷の仕組みを輪転機模型で解説します。模型は高さ1.8メートル、4色を印刷するローラーが上下に並んで、紙が動き、4色を重ねて印刷する仕組みを理解してもらえます。

重要ニュース紙面展示コーナー

山陰中央新報や前身の新聞は、140年以上にわたって国内外のさまざまな出来事や出来事、竹下登首相の誕生、くにびき国体、山陰地方を襲った災害などを伝えた紙面を展示しています。

主な展示・設備

1階

- 創刊号パネル
- 記念日新聞コーナー
- 重要ニュース紙面
- 活字など印刷資料
- 巻き取り紙
- 多目的ホール
- 活版印刷機

2階

- さんさんホール(188台ディスプレイ設置)
- 組版体験コーナー
- 輪転機模型
- インキ

見学について

時間 月一金曜日(祝日除く) 午前10時~午後2時半

人数 1日2団体まで 1回の来館者は40人まで

内容 館内見学、新聞教室

予約 電話で受け付け (平日午前9時~午後5時)

予約・問い合わせ先

山陰中央新報 製作センター

(出雲市斐川町上庄原1318)

電話 0853(73)9331

ほじょ犬って知ってる? とてもしつこくて、目や耳、手足が不自由な人の生活をサポートするために特別に訓練された犬だよ。ほじょ犬の日は、ほじょ犬に関する法律が成立したことを記念して作られたんだ。

外出先で見かけても、大切な仕事をしている最中だから、気を引く行動をとったり、食べ物を与えたりしないで、温かく見守ってあげてね。